

令和3年（2021年）度上期胆振管内観光入込客数の状況について

令和4年（2022年）2月
北海道胆振総合振興局

【概要】

令和3年（2021年）度上期の観光入込客数は5,110.1千人で、前年（2020年）同期（5,125.5千人）と比べて15.4千人の減少（前年同期比99.7%）となり、前年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、統計が新方式になった平成22年度以降で最少となりました。

コロナ禍以前の令和元年（2019年）同期（10,270.8千人）との比較でも、49.8%と大幅な減少となっています。

令和3年度上期（2021年4月～9月）は、4月から実施された道の旅行割引制度「新しい旅のスタイル」や市町村独自の旅行割引制度等の実施により観光地への客足が戻りつつありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、5月のGW明けからまん延防止等重点措置・緊急事態宣言の対象地域となったことにより、入込客数は減少に転じました。

その後、感染状況が落ち着きを見せ、7月はやや回復傾向となりましたが、8月には感染者数が増加し、再び緊急事態宣言対象地域となったこと等により、入込客数も減少しました。

（道外・道内別）

道外・道内別では、道外観光客は1,165.7千人（構成比22.8%）で前年同期から64.6千人の増加（前年同期比105.9%）、道内観光客は3,944.4千人（構成比77.2%）で前年同期から80.0千人の減少（前年同期比98.0%）となっています。（資料1）

一方で、令和元年同期との対比では、道外客比率は、35.2%から22.8%へと減少となり、全国、北海道でまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出された影響で、遠方地への旅行を控える傾向が現れていると考えられます。

（日帰り・宿泊別）

日帰り・宿泊別では、日帰り客数は4,562.3千人（構成比89.3%）で前年同期から2.4千人の減少（前年同期比99.9%）、宿泊客数は547.8千人（構成比10.7%）で前年同期から13.0千人の減少（前年同期比97.7%）となりました。

宿泊客延べ数は627.5千人泊で、前年同期から27.5千人泊の減少（前年同期比95.8%）となっています。（資料1）

令和元年同期との対比では、宿泊客比率は、16.3%から10.7%へと減少となり、全国、北海道でまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出された影響で、近隣を旅行する傾向が現れていると考えられます。

【資料1】令和3年（2021年）度上期胆振管内観光入込客数内訳

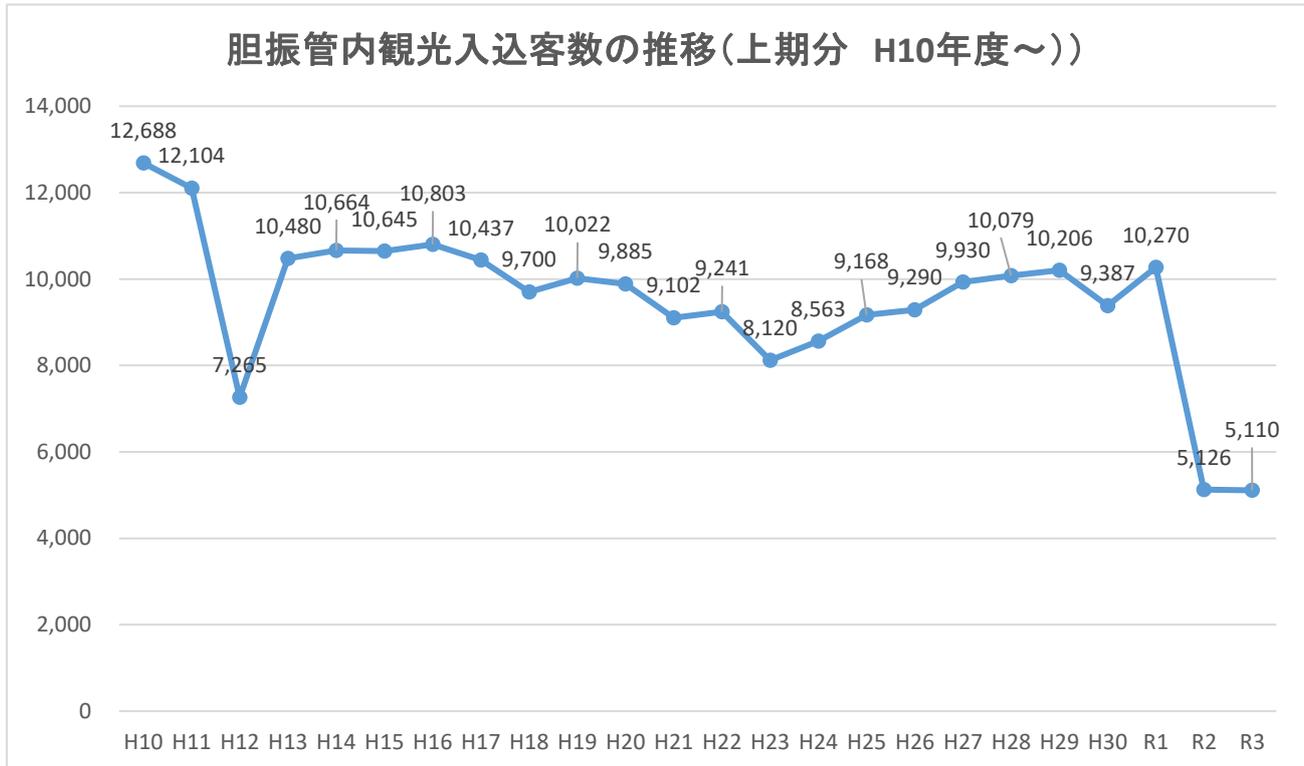
（単位：千人、千人泊）

区 分		令和3年（2021年）度上期観光入込客数		前年同期比	前年度上期からの増減数
			構成比		
道内・道外別	道外客	1,165.7	22.8%	105.9%	64.6
	道内客	3,944.4	77.2%	98.0%	▲80.0
日帰り・宿泊別	日帰り客	4,562.3	89.3%	99.9%	▲2.4
	宿泊客	547.8	10.7%	97.7%	▲13.0
入込総数（千人）		5,110.1	100.0%	99.7%	▲15.4
宿泊客延べ数（千人泊）		627.5	—	95.8%	▲27.5

以下参考として、平成 10 年度からの観光入込客数の推移【参考資料 1】、令和元年度からの 3 カ年における観光入込客数の月別の推移【参考資料 2 - 1】(道外客・道内客別)、【参考資料 2 - 2】(日帰り客・宿泊客別)を添付しています。

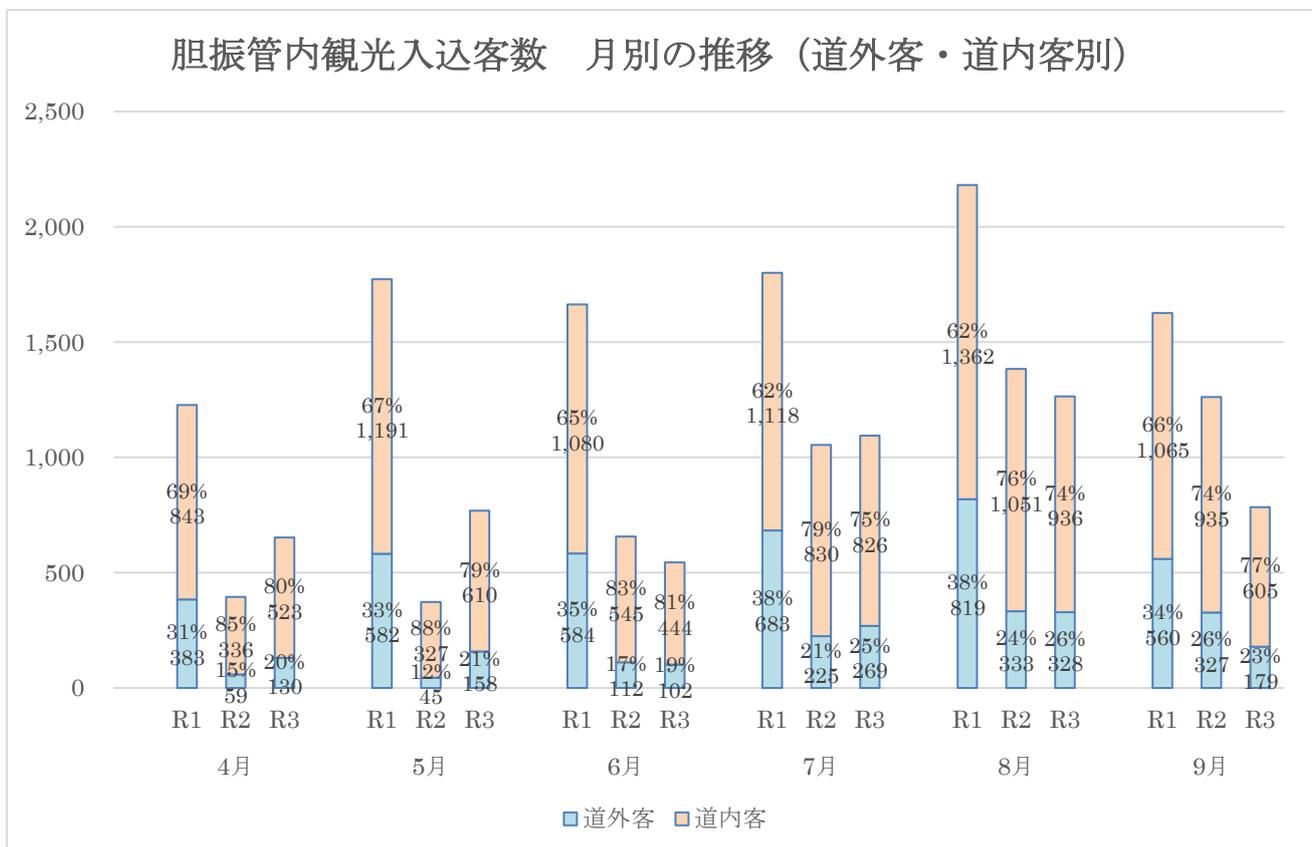
【参考資料 1】胆振管内観光入込客数の推移 (H10 年度～)

(単位：千人)



【参考資料 2 - 1】胆振管内観光入込客数 月別の推移 (道外客・道内客別)

(単位：千人)



【参考資料 2-2】胆振管内観光入込客数 月別の推移（日帰り客・宿泊客別）（単位：千人）

